

No.23

あかりの家

発行：2013年8月 発行者：社会福祉法人 あかりの家

題字：武市 賴和



はばタンがやって来た

あかりの家のさをり織り作業班に、県民情報番組「ひょうごワイワイ」の取材がありました。はばタンがやって来て、さをり織りの蝶ネクタイをプレゼントしました。番組は7月28日(日)8:30～サンテレビで放送されました。



あかりの家 余暇イロイロ

平日、あかりの家では作業を中心に励んでいます。休日や余暇時間には、生活に張りがもてるように、イロイロな取組を行っています。そのなかで、その人その人の楽しみを応援しています。



感謝しています

数年前、北脇の自然に親しむ会の皆様により、裏山にハイキングコースが整備されました。

あかりの家でも、余暇の時間などによく利用させていただいております。ありがとうございます。



職員との会話が増えました

Aさんと職員でトマトを一鉢育てています。Aさんは、毎日「トマト、トマト」と楽しそうに話しかけてくれるようになりました。

兵庫県の代表選手に

フライングディスク競技で、昨年、県大会で優勝、全国大会でも銅メダルを獲得したBさん。

投盤距離を伸ばして、今年も全国大会に挑戦です。



明日の予定を日記に書きます

明日は帰省日。「楽しみだね」と話しながら、お家に帰ってケーキを作る予定を書きました。

奮闘中!!

1階リビングのエアロバイクでダイエットに挑戦中のCさん。

やり始めたころはすぐにへばっていましたが、今では20分以上走行が可能になりました。

ワークホーム高砂で力をつけて旅立つ！

ワークホーム高砂ができて11年目、ついに、就職される利用者が2名誕生しました！

Aさんはあかりの家後援会長の会社で塗装の仕事をし、Bさんはあかりの家で洗濯の仕事をされています。

あいさつする

Aさんは、場面によって話ができなくなり、あいさつもできませんでした。そこで、支援員がストレッチと一緒にしたり、ユーモアのある話かけをしたりすることで、少しづつ、笑顔であいさつができるようになりました。通っていた特別支援学校の先生が「笑顔であいさつできるようになったなんて信じられない！」と言ったほど成長しています。今では、職場の失敗についても話してくれるようになりました。



時間を守る

Aさんは、ワークホームでは、作業開始前に、自ら進んで作業場に行って、機械の準備をしていました。



お給料が楽しみ

Bさんはお給料で、ヘルパーの方と一緒に大阪へ行ったりします。大好きな映画を見に行くと、「モンスターインク・ユニバーシティ見にいってんの！」と元気よく明るい顔で教えてくれます。

職員が、「ご馳走してくれるん？」と聞いたところ、以前は「考えとくわ」と言っていたのが、今は「ご飯おごったんだえ！」と言われ、そういう気持ちも芽生えています。

自力通勤できる

新しい職場まで、Aさんは電車で、Bさんは自転車で元気に通勤しています。



体力がある

高い作業能力があっても、最終的には体力がないと就労は続ません。ワークホームで、熱い中、毎日休まず働き、体力をつけてきました。



働く中でたくましさを育てたい

ワークホーム高砂施設長 斎藤 克己

「働く中で豊かな人生を築き、たくましく生きる力を養おう！」この理念のもと、利用者と職員が日々汗を流しながらクリーニング作業に取り組んでいます。たくましく生きる力を作業をとおして身につけ、広い社会へと飛び立ってほしいと私たちは願っています。

本年度に入り、二人の利用者が一般就労へと旅立っていました。ワークホームで身についた仕事に取り組む姿勢が社会の中で問われることになりますが、二人には自分らしさを忘れずに一生懸命頑張って欲しいと願っています。

まだまだ障害者に対する厳しい風は吹き荒れています。しかし、私は、可能性があれば果敢に挑戦し、ダメだったらまた戻ってやり直したらいい、一度や二度の失敗で諦めないでほしい、そのための応援こそが職員の役割であり責任であると思っています。

夕暮れに帰宅する利用者の後ろ姿に、「お疲れ様、明日も元気で出勤するんだぞ！」と応援し続けるワークホームでありたいと思っています。



わたしたちが地域生活を応援します



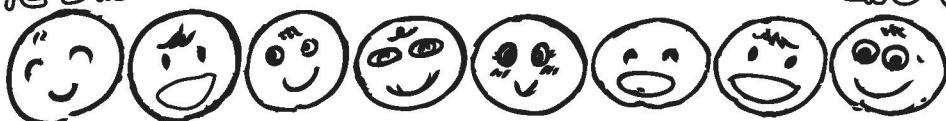
ようこそ 地域支援室へ



地域支援室は、地域との窓口として、地域でお暮らしの皆様が安心して暮らしていくける地域づくりを目指しています。これからも皆様とともに歩んでいきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

兵庫県・障害児等療育支援事業 姫路市・障害児等療育支援事業 のご紹介

わたしたち療育スタッフがより地域に密着して活動しています



訪問相談

- ご家庭に訪問させていただき、ご相談をお受けします
お家のパニック お家でこだわりが強い 物を壊す 外に飛び出す 等

施設支援

- 日中活動の事業所や施設に出向いて、ご相談をお受けします
○支援員の方々へ作業環境の工夫や補助具の提案などのアドバイス
仕事が手につかない 事業所に通えない 等

外来相談

- あかりの家に来ていただき、ご相談をお受けします
※姫路市のみ実施しています
兵庫県はなくなりましたのでご留意ください

こまつなな

こまつときは
お気軽に 亀山まで
ご相談ください

(079)254-3292

ケアホーム希望山荘日笠が20周年を迎えました

20周年を迎えて、ベーコンを手づくりし、みんなでお祝いをしました。



トピックス

できるようになって うれしい！(あかりの家)

日中活動として新たに『体操活動』と『学習活動』をスタートさせました！

時計学習を始めたのはAさん。初めからかなり真剣な表情で学習に取組み、今では、支援員に「今日はしないの？」と確認するくらい、勉強にハマっています。

体操活動に参加するBさんは、今まで難しかった片膝立てができるようになりました。「すごい！頑張ったね！」声をかけられ、まんざらでもない表情を浮かべてくれます。

【できる・分かる嬉しさ】を利用者さんと共に感じができる活動として、職員も張り切って取組んでいます！



太陽光発電システム設置(あかりの家)

今年の5月に、広い作業棟の屋根を利用して、最大発電量

19.8kWの太陽光パネルを設置しました！

法人でケアホームに次いで2ヶ所目になります。



おそろいの帽子で一致団結！(ワークホーム高砂)

タオルに髪が入っていたというクレームをきっかけに、今年からメンバー全員でおそろいの帽子をかぶることになりました。

デザインは職員が考えてキュートな仕上がりになりました！猛暑の中、一丸となって頑張っています。



児童デイサービス

幼児さんの療育支援を始めました

毎週1回利用の子、平日毎日の利用の子、パターンは様々。“人と過ごす楽しさ”、“できることの喜び”を感じてもらえるように遊んだり、勉強したりしています。

『一人で靴が履けるようになった』・『手を繋いで歩けるようになった』とか、『言いたいことを伝えようとしている』等、小さな芽生えに親御さんも喜んでくれています。



未来へ繋ぐ

大人の世界に飛び込む準備のお手伝いをしたい、中・高校生に働くことの難しさ、その喜びを教えてあげたいと思っています。まだまだ雑多な感じですが、働くということの疑似体験をしてもらっています。

青年期・成人期を迎えるためのガイドブック

『発達障害のある子どもの育ちの応援BOOK』発行！

ひょうご発達障害者支援センター クローバー

お子さんを育てられているご家族の相談で、「将来に向けて何をしていけばよいか」といった内容が多くなっています。そうしたご家族に、少しでも参考にしていただきたく、『発達障害のある子どもの育ち応援BOOK』を作成しました。

内容は、成長していく過程で、生活や就労をどのように送れるかを事例を交えてわかりやすく説明しています。

青年期・成人期へ育っていく中で
どんな支援を受けられるか
どんな援護制度があるのか
を紹介しています

- 就労に向けて、どういった支援が受けられるか
- 就労に向けてどういった援護制度があるのか
- 就労するためにどういったことが必要か
- 生活を支える上でのサービスや支援はどのようなものがあるか

成人期の生活、就労について大人になった人から学ぼう

大人になった人たちの事例を紹介

- 一般大学を卒業後、準備支援等を経て就労をしている一郎さん
- グループホームで生活をし、福祉施設に通所しているみちこさん
- 大学卒業後に就労移行支援事業所で支援を受けているよしこさん
- 特別支援学校を卒業後、企業就労をした二郎さん
- ヘルパーの支援を受けながらひとり暮らしをしている三郎さん

特別支援学校在学中より、家庭生活に課題があったが、（インターネットでアニメ関係の商品を購入するが、その評価が気になりパソコンを破壊する行為が頻発）環境設定とルール作りをして、生活が安定し、また、きっちりと作業が出来る部分を生かし、実習から徐々に日数を増やし、スーパーの品だしの仕事に従事した事例です。（中略）

【支援方法】

自宅のネット環境から考え直してもらいました。いつでもネットで評価を確認できる状態は二郎さんにとってストレスのかかる状況になっていました。ますご家族にも協力してもらい、ネットを解約してもらいました。ただ、ご家族のネット利用も必要ですので、その場合は携帯のテザリング機能を使ってもらい、二郎さんが商品を購入したい場合は店頭に行き購入するという新しいパターンを提案しました。ポイントとしては①長時間ネット上の評価を見続けることができない状況をあえて作る、②好きなアニメ商品を購入できる機会は別の形で確保する、③家族の生活も不便にならないように配慮する。

講演会『いま 何ができるのか』 -発達障害のある子どもの将来を考える- 講演録掲載

青年期・成人期を迎えるにあたって いま、何ができるのかをテーマに

平成25年3月に開催した講演内容を収録しました

- 発達障害ある児童の青年期、成人期を見据え取り組んでおくこと
元愛媛大学教育学部教授 上岡 一世氏
- 就労移行支援事業所の支援-発達障害のある人への取り組み-
就労移行支援事業所クロスジョブ KOBE
管理者兼サービス管理責任者 古川 直樹氏
- 企業就労の現状-発達障害のある人の雇用を行っている企業の取り組み-
日本パーソナルセンター株式会社 常務取締役 大本 正巳氏
- わが子の子育てを通して - 成人期前のお子さんを持つ親御さんへ-
兵庫県LD親の会『たつの子』副代表 清水 政子氏



お母さんが「今日は、198円のマヨネーズを買ってきてください」と言って、大きいマヨネーズの袋を見せて「スーパー行って、買ってきてください」って、200円渡しました。そうするとこの子は、200円持つてスーパーに行って、何を買ったかなどと、小さいマヨネーズと、それから自分の大好きなお菓子を買ってきました。全くの偶然だろうと思うんですけども、2円、おつりを持って帰ってきたんです。

お母さんが「なんでうちの子は、こんなことができるのか?教えてください」と聞かれたんですが、私にもわかりません。ただ言えることは「お母さんがすばらしい子育てをしている」ということだけはわかる。すばらしい子育てをしているから、こういう子どもが育ったんです。むしろ私が教えて欲しい。「どういうふうな子育てをすれば、こんな子どもに育つのか?」ということで、私が、1週間ほど家庭訪問をして、小さいときからどんな育て方をしたのか、お母さんの子育ての歴史を聴き取ったんです。そして、わかったことが、ここに書いてあることです。

応援BOOKより抜粋

あかりの家 自閉症療育のキーワード集(10)

「第19回あかりの家事例研究会」研究誌より

＜実践の中で得たエッセンスをことば＞にし始めて11年になる。以下、『第19回あかりの家事例研究会』(’13.2)研究誌の「あかりの家自閉症療育のキーワード集13年度版」からの抜粋である。

136 「そばにいてくれるだけでいい」 ～ある1日の決意から始まった変化～

靴下を履かない、ベルトをしない、トイレ後の手洗いをしない、あちこちの場面で身だしなみが気になるBさん。ついつい注意の声掛けが多くなる。毎日続く。これでよいのか迷い始めた。

10月のある日、「出来ていること」への声掛けだけで通すこととした。「作業着、着てるね」「手洗えたね」「それでいいよ」と、肯定的な言葉で徹底し、褒めた。

するとその日、リビングでゆっくり座って過ごしている。入浴後の靴下も履いているし、ベルトもきちんとしている。考えても無かったことが起きた。

それから1週間、目の前に来たBさんが「そばにいてくれるだけでいい」とボソッと呟いたのである。突然の、どこかで聞いた台詞のような言葉に驚かされた。彼の言葉をほとんど耳にした事がない園長からは「ホンマカイナ」と笑われた。しかし本當である。実はBさん、TVのクイズ番組をチラチラ見ていて突然正解を呟いたという伝説の持ち主であった。

そして、言葉のやりとりも増えた。靴下やベルトをしていることをアピールし始め、すぐに居室に入らず消灯時間ギリギリまでリビングで過ごすことも増えた。

ある1日の決意から始まった変化を、どう解釈するか。情緒的な解釈しかできないが、あの徹底して肯定した一日の「点」が、「線」となって繋がり始めていることは確かである。

107 服破りの姿勢

Jさんは、服を破く、水に浸ける、渡す服も着ようとしない等が続いている、だんだん裸で過ごす時間が増えだした。

そこで12年前に始まった療育研修で、いの一番に取り上げた。そして、服を着て生活できるようになった。

そのことについて、当時から今に引き継がれている着眼点がある。それは、服破りにつながる「イスに座る姿勢」がある。背中が曲がり、頭が下がり、両足を強く閉じて、太ももの下に両手を挟み、両足をイスの下まで曲げる、そういう姿勢が服破りにつながる。

それを放置しておくと、どんどんと前傾姿勢になり、腹に力が入り、視線が下に行き、身体全体に力が入って表情も険しくなってくる。そうすると、靴下を強く上げ、ズボンの裾を強く下げ、服の袖を強く伸ばし、襟を触る。しまいに「ハツ～！」と声が出て服を破る。

といった一連の動きを絶つためのポイントが、背もたれに背中をつける、頭を上げる、両足を広げる、両手を太ももの上に乗せる、両足を前へ出す姿勢である。

言葉だけでも姿勢を修正できるが、できない時は、隣に座って「足を伸ばす」と言葉かけをし、こちらも足を伸ばして見せたりする。あるいは、Jさんの両手を持ってパンザイのポーズで力抜きをした後、座り方の修正をする。

修正が成功すると、靴下を強く上げるなどの動きはほとんど見られない。身体の力が少しづつ抜けて、表情も柔らかくなり、ゆったりと座れる。

「工工感じ！」と声をかける。Jさんもコクリと頷く。

93 これまでの関係があれば成功できる！

「死ぬかもしれない手術なんか、Hがいなかつたら受けようと思わない。」と、手術の決意をされたHさんのお母さん。

しかし、そう言うお母さんも、入院前の面会には消極的であった。これまでの経験から、面会後帰省できないことで、状態を崩すのではないか、そのような不安が先に立ったようである。

一方で、お母さんの体調からして、今後宿泊帰省は難しくなりそうだ。だから、この面会を成功させて、お母さんが、帰省なしの面会にも、不安なく来られるようにしたいと考えた。

成功できると思った。新任で担当した2年半前、イライラ動き回り、甲高い声でしゃべりまくっていた。食事では“盗食”が頻繁にあって、支援員はHさんの手を持ち、体でガードして“盗食”を防いでいた。それでも隙を狙われるような状態であった。

2人だけのゆっくりした時間を、外出を含め一生懸命作った。そうして、今では落ち着いて話を聞いてもらい、約束も守ってもらえるようになった。だから、しっかり話しあめれば、思いは伝わると考えた。

そうして、当日朝、静かな居室で、外食でのふるまい方や家に帰らないことなど、しっかりゆっくり話をした。そして、1年ぶりにお母さんと妹さんを迎える、私を含め4人で外食に出かけた。

レストランではお母さんの横に座った。そしてゆったりと自分で食べている。コーヒーも一口飲んでは置いている。「（一気飲みでなく）ゆっくり飲むのを初めて見た」と妹が驚いた。「良かったね」と話しかけると、ニコッと満足の顔ををする。

そうして、お母さんが、「おかあちゃん頑張って手術するから」と話すと、「うんうん」と顔を見ながら真剣な顔で頷いた。その時、足の貧乏ゆすりは止まり、曲った姿勢も背中が伸びた。別れ際、どこで寝るのか聞くと、「あかりで寝ます」と落ち着いて答えた。

退院後、定期的な面会も始まった。「帰省のない面会」の成功が、お母さんの気持ちを前向きにさせた。

64 見通しが覚悟を引き出した

親知らず2本を抜くことになったSさん。母親の話では、子どもの頃、耳鼻科で大きな抵抗があってから歯医者には行ってないという。

1本ずつ2回に分けて抜くと聞く。となると、次に繋げるために、1回目を成功させなければならない。あかりの家では歯科検診が毎月あるが、歯医者に行くとなるとまた違う。苦手な注射もあるし、強い拒否が十分予想された。

通院の朝、“今日は歯医者に行く、歯に注射する、奥の歯を抜いてもらう”と言う事を、静かな居室で一つ一つ説明した。はじめは、「くるま」と言ったり、作業棟を指さしたりして、外出するのか？作業するのか？と確認をしていた。しかし、5分ほど一つずつ説明していくと、次第に真剣な顔つきになった。最後に「どこいくの？」と聞くと歯を指差し「ハイシャ」と言い、「注射どこにするの？」と聞くと歯ぐきを指差して応えられるようになった。

往きの車中では外を見ながら時に笑顔が見られた。ところが歯科に着くと覚悟を決めたような顔つきに変わった。待ち時間も、聞こえてくる歯を削る音や痛みの声などに乱れることはなかった。診察台上に上がってからも、口を大きく開け、見慣れぬ器具にも注射にも恐れる事無く治療を終えた。拍子抜けする程に抵抗なく終わった。

事前の説明で、見通しを持ち、心積もりできたことが、彼の努力や覚悟を引き出したと考えている。

55 関係づくりことば

Zさんはお茶やお汁を飲む際、わざと服にお茶をこぼすことがある。

6年前担当になった時、「お茶をこぼしてはダメ！」と徹底して言い続けた。しかし、上手く伝わっている感触はなかった。そこで、「ダメ！」を、「お茶をこぼさないように気をつけてね。」と変えてみた。そして、ちゃんと飲めた時には、二人で「セーフ！」とジェスチャーをして、少し冗談も絡めた。

そのうち、「今日もセーフでね。」が、二人の共通言語になった。ちゃんと飲めた時には、Zさん自らが、小さい声で「セーフ」と言ってくれるようになった。お茶こぼしもかなり減った。

そして今年度に入って、幾分しゃれた感じの「マナー」という言葉に変えた。最初に使った時、彼はニヤニヤっと笑った。今では、色んな場面で使える言葉になってきた。

あかりの家イロイロ情報局

短期入所事業・日中一時支援事業

行動上の問題や、家庭のご都合などで、一時的に施設をご利用いただけます。昨年度は、自閉症の方を中心に延べ2,837日の利用がありました。

児童デイサービス事業

自閉症や発達に遅れのあるお子さんの将来を見すえて、大人になったときに自分らしく社会の中で生きていくことができるよう、個別療育や集団療育をとおして「発達の芽」を育てる事業です。

障害児等療育支援事業

在宅障害児（者）及び家族を対象とした相談・療育を行う事業です。当事業では専属のスタッフがご相談をお受けします。ご相談をお受けした後に療育担当職員が以下のような支援をいたします。

I：お宅にお伺いしてご相談をお受けします。

II：あかりの家に来ていただいて、ご相談をお受けします。

III：通所施設、学校、保健所などにお伺いしてご相談をお受けします。（施設支援一般指導事業）

療育相談

お気軽にお電話ください!!

TEL 079-254-3292

FAX 079-254-3403

亀山まで

親子体操教室

お母さんが、子どもの身体に働きかけながら、バランスある受容と主導の力をつけ、親と子のくよい関係を作るために応援もしております。

さわりの会 ボランティア募集中

さわりの反物を商品化する **さわりの会** に参加してくださる方を募集しています。多くの方々のアイデアを集めて皆さんに喜んでいただける、よりよい商品を作りあげていこうと考えています。興味のある方はぜひ一度お立ち寄りください。

日時：月2回の土曜日 10:00～12:00 ※都合により変更する場合があります

場所：障害者支援施設 あかりの家 さわり作業棟

自閉症専門図書・VTRの貸出

あかりの家では、自閉症に関する専門図書、ビデオを約400冊保有し、希望する方に貸し出しています。

ナイスハートバザール

今年も高砂アスパさんの協力を得て開催いたします。さり織り・さきおりともあかりの家のオリジナリティ溢れる商品を販売しております。

ぜひとも足を運んでみてください。

12/7（土）・12/8（日）

高砂アスパにて



地域交流ホームの開放

あかりの家では、地域福祉の活性化のために、地域交流ホームを、障害のある方たちの活動や、ボランティアグループの会議などにご利用いただき、施設と地域との交流の場として開放しています。

社会福祉法人 あかりの家の状況（H24年度）

《社会福祉法人 あかりの家 利用者状況》(平成25年4月1日)

あかりの家 〈施設入所 定員40名、現員40名（男32名、女8名）〉
〈生活介護 定員 40名、現員45名（男35名、女10名）〉

ワークホーム 〈定員36名、現員48名（男37名、女11名）〉

ケアホーム 〈定員6名、現員5名（男4名、女1名）〉

1. 出身別利用状況 高砂市(34) 加古川市(23) 姫路市(15) 播磨町(7) 加東市(1)
神戸市(9) 尼崎市(2) 小野市(2) 県外(2)

2. 年齢 あかりの家 最年長58歳、最年少21歳、平均 施設入所41.1歳 生活介護40.4歳
ワークホーム 最年長50歳、最年少19歳、平均31.3歳
ケアホーム 最年長77歳、最年少43歳、平均56.8歳

編集後記

今年は保護者の方に「あかりだより」で取りあげて欲しい記事についてお訊きました。その中で余暇活動を取りあげて欲しいとの意見が多く、一部ですが紹介させていただきました。

初めて編集に参加させてさせていただきましたが、伝えたいことを表現していくことの難しさなど、いろいろ勉強させていただきました。皆様に楽しく読んでいただける「あかりだより」になっていたら嬉しいです。（S.T.）

社会福祉法人 あかりの家

自閉症成人施設

児童デイサービス

相談支援事業所

知的障害者通所授産施設

ワークホーム高砂

ケアホーム希望山荘

ひょうご発達障害者支援センタークローバー

〒671-0122

兵庫県高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403
URL <http://homepage2.nifty.com/akarinole/>

〒671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403
E-mail akarinole@nifty.com

〒671-0122 高砂市北浜町北脇504番1 TEL(079)254-3292 FAX(079)254-3403

〒676-0081 高砂市伊保町中筋1331 TEL(079)449-0701 FAX(079)449-4111
E-mail workhome@nifty.com

〒676-0082 高砂市曾根町1704-4 TEL(079)447-3136 FAX(079)447-3136

〒671-0122 高砂市北浜町北脇519 TEL(079)254-3601 FAX(079)254-3403
URL <http://auc-clover.a.la9.jp/> E-mail auc.clover@nifty.com